



NAGAOKA
120th Anniversary
長岡市
市制施行
120周年事業

良寛・貞心尼出逢い2000年記念

良寛の里美術館特別企画展

晩年の良寛

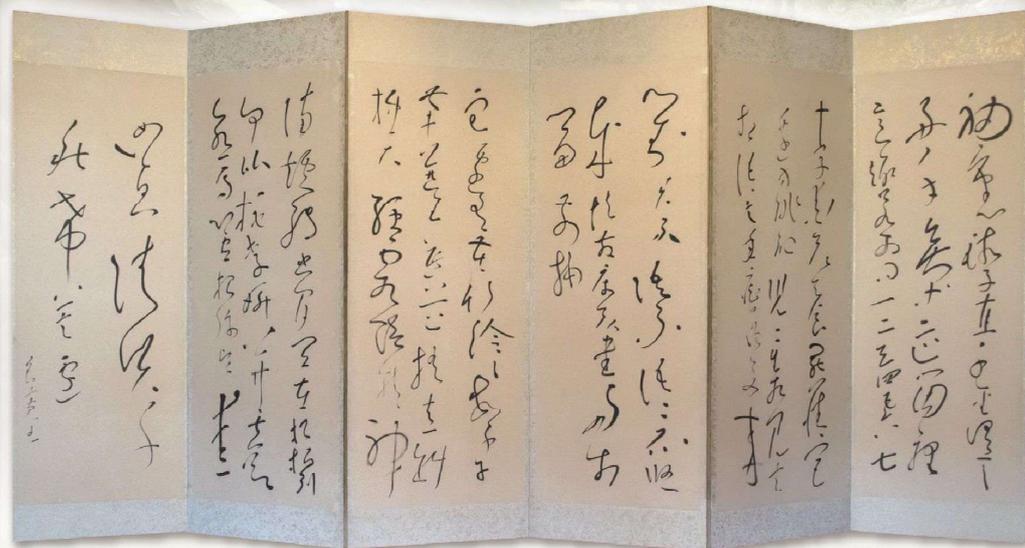
その軌跡をたどる文化財展

良寛と貞心尼の出逢いから2000年

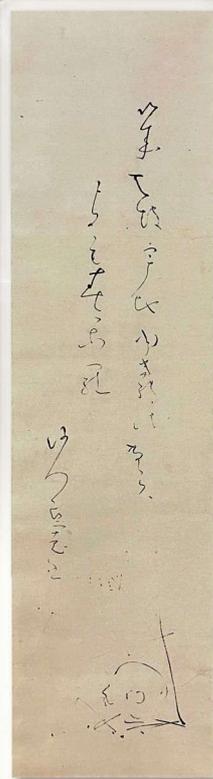
良寛が貞心尼と出逢い

終の棲家としたこの地に残る筆跡が

晩年の良寛の面影を伝える



良寛書 六曲屏風「袖裏毬子直千金」ほか(個人蔵 新潟県指定文化財)



良寛画賛 軸装「きてはうち」
(良寛の里美術館蔵 長岡市指定文化財)

2026[令和8]年

4.25(土)~6.14(日)

オープニングセレモニー 令和8年4月25日(土) 9時~

開館時間 9時~17時(入館は16時30分まで)
休館日 月曜休館(5/4開館、5/7代替休館)
観覧料 大人(高校生以上) 一般500円 団体400円
小人(小・中学生) 一般300円 団体200円
主催 長岡市

・団体は20名様以上です。
・未就学児は無料です
・良寛記念館、燕市分水良寛資料館のチケットのご提示で入館料が100円引きになります。

道の駅良寛の里わしま

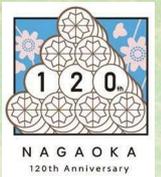
良寛の里美術館

〒949-4525 新潟県長岡市島崎3938 ☎0258-74-3700
<https://ryokanartmuseum.jp/>



良寛・貞心尼出逢い200年記念

良寛の里美術館特別企画展



長岡市
市制施行
120周年事業

晩年の良寛

その軌跡をたどる文化財展

2026[令和8]年

4.25(土)~6.14(日)

今年良寛と貞心尼が出逢ってから200年を迎えます。

良寛が終の棲家とし、貞心尼と清らかな師弟愛を紡いだ長岡市和島地域とその周辺には、良寛が暮らした息吹、人びととの交流が伺える貴重な資料が数多く残されています。

本展覧会では、良寛と各地域の関わりを紹介しつつ、晩年の良寛が歩んだ軌跡を貴重な文化財やゆかりの品からたどります。

主な展示内容

仮住まいの地 寺泊

円通寺の修業を経て諸国放浪から越後に戻った良寛は、国上山の五合庵に定住するまでの間、居場所を転々と、その後、寺泊の密藏院などに滞在しました。年老いて国上山を降りた後も度々訪れた寺泊地域の文化財を展示します。



良寛遺墨「過去帳」
(照明寺蔵 長岡市指定文化財)

峠を越えた交流 与板

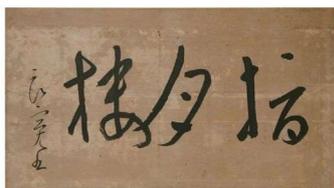
与板は父以南の生家があり親類や友人が多く、弟由之も晩年に移住しました。良寛と由之の兄弟は険しい塩之入峠を越えて、互いのもとを訪れ、温かな交流を紡ぎました。良寛と縁の深い与板地域の文化財を展示します。



良寛の「瓢水指」
(蓮正寺蔵 長岡市指定文化財)

終の棲家 木村家へ はちすば通りの人々との交流 和島

文政九年(1826)、年老いた良寛は、終の棲家となる和島地域島崎の木村家へ身を寄せました。良寛ゆかりの史跡が並ぶ「はちすば通り」を中心に、地元の人々との親密な交流を示す文化財を展示します。



良寛書「指月楼」
(個人蔵)

良寛と貞心尼の出逢いと交流 良寛遷化 貞心尼柏崎へ

良寛が木村家へ身を寄せて間もなく、貞心尼は良寛と運命的な出逢いを果たしました。二人の交流は天保二年(1831年)、良寛が示寂するまで続き、その様子は歌集「蓮の露」に綴られています。良寛の遺志を後世に伝えた貞心尼の遺墨を中心に展示します。



照阿画「貞心尼病中図下絵画賛」
(柏崎市立図書館蔵)

良寛を敬愛した人たち

良寛の無欲で慈愛に満ちた人柄やあるがままを受け入れる生き方は、当時の人びとだけでなく、後世の作家たちにも感銘を与え、多くの文学作品や美術作品が生みだされました。良寛を敬慕した作家とその作品を紹介します。



小林古徑「玉島の修行時代」
(出雲崎町良寛記念館蔵)



道の駅良寛の里わしま

良寛の里美術館

〒949-4525 新潟県長岡市島崎3938 ☎0258-74-3700
<https://ryokanartmuseum.jp/>

